

そこで母に

「前日の夜に出していないのであれば、早く出してもいいのではないの？ ルールには、八時三十分までに出してと書いてあるだけで、当日の何時いこうに出してとは書いてないのだから…」と、調べた後なので、得意とくいになって言いました。

「ルールねえ。ルールでは確たしかにそう書いてあるのよね。でもね…」

「ルールを守っているのだから、いいでしょ！」  
と、調べたことに文句もんくを言われたようで、私は少しむきになって言い返しました。  
すると、母は

「もやせるごみの中には、生ごみが多いのよ。同じふくろの中に、魚のほねやわりばしが入っていたら、ふくろがやぶけることもあるのよ。そうしたらめいわくがかかるでしょ。うちの横にごみステーションがあったとしたら、どう思うの。ルールを守ることも大切だけど、マナーもね。」と、言いました。

母の言葉を聞いた私は今、マナーについて考えています。

○お母さんは、なぜ「ごみの出し方がよくない」と思ったのでしょうか。

○ルールとマナーは、どう違うのでしょうか。

◎身近な生活で、マナーを守った方がよいと思うことは、どのようなことがありますか

## 「ルール」と「マナー」について考えよう

私の母は新聞配達の仕事をしていて、毎朝三時には仕事場につくように出かけ、五時半ごろ帰ってきます。

その母が先日、家の中のごみをまとめながら、

「最近、ごみの出し方がよくないのよね。」

と、つぶやいていました。くわしく聞いてみると、母が出勤するとき、ごみステーションにもやせるごみを出している人を見かけたそうなんです。

社会科で、ごみについて学習していた私は、札幌市で出している「ごみ分けガイド」を読んでみました。そこにはいくつかの注意事項といっしょに

## 排出ルールを守りましょう

● 収集日当日の朝、八時三十分までにごみステーションに出しましょう。

前日の夜や収集後に出してはいけません。

と書かれているだけでした。